令和 8年 11月10日

那須烏山市議会議長
相馬 正典 様

（議席番号）9番　青 木 敏 久

一　般　質　問　通　告　書

次のとおり通告します。

質　問　事　項	質　問　の　要　旨	質問の相手
1．本市の道路予算に係る週刊誌報道を受けた精査と説明責任について	10月6日、国土交通省は道路予算に係る週刊誌報道に関する精査結果を公表した。 同省は、那須烏山市に関して、市町事業単独では前年度比で減少しているものの、市事業と県事業を合わせた「想定国費」は前年度比20．5%増であり、簗衆議院議員からの問い合わせが配分作業に影響を与えた事実はないとの見解を示している。 一方で、市長は「疑念はむしろ深まった」と発言し、国に対して説明責任を求めている。また、市長は10月28日の定例記者会見において、「市の道路予算を巡ってSNS上で事実誤認に基づく中傷もある」と発言している。 本市としても、市民の不安や疑問を解消するため、客観的事実に基づく説明責任を果たす必要があると考える。 そこで、道路予算に関する精査結果について伺う。	市　長
	① 簗衆議院議員による「那須烏山市の道路予算64%減」との発言について、本市として確認した事実関係を伺う。	
	② 国土交通省が説明している「那須烏山市の道路予算26．2%減」について、本市として確認した事実関係を伺う。	
	③ 国土交通省が説明している「栃木県と那須烏山市を合わせた想定国費20．5%増」について、本市として確認した事実関係を伺う。	
	④ 国土交通省は、「社会資本整備総合交付金の配分は、地方公共団体からの要望、事業の進捗状況及び重点配分対象の有無等を総合的に勘案して行っている」と説明しているが、本市の見解を伺う。	
	⑤ 「市の道路予算を巡ってSNS上で事実誤認に基づく中傷もある」との発言について、具体的にどのような内容を指しているのか伺う。	
	⑥ 本市の精査結果として、社会資本整備総合交付金の配分決定に簗衆議院議員が影響を及ぼした事実を確認しているのか伺う。	
2．定例記者会見における発言内容の訂正について	市長は10月28日の定例記者会見において、国への要望活動に関し、 「簗さんを通してはできなくなり、高橋克法参議院議員に頼んでいた」 「簗さんにずっと頼んだが、動いてくれなかった」 との趣旨の発言を行った。 しかし、その後、市は10月30日に発言内容を訂正し、 「2021年以降は簗衆議院議員の多忙さを考慮し、同議員を	市　長

那須烏山市議会
受付
8.11.10
5

	通じた要望活動を見送り、高橋克法参議院議員を通じて要望活動を行ってきた」 と説明した。 また、市は「時系列の認識不足などにより事実と異なる不適切な発言となった」として謝罪している。 そこで、発言内容の訂正について伺う。	
	① 市は「簗衆議院議員が多忙であったことを考慮した」と説明しているが、高橋克法参議院議員も国土交通副大臣や総務副大臣を歴任し、選挙期間も含め公務多忙であったと考えられる。両議員に対する要望活動の対応方針に差異が生じた理由を伺う。	
	② 市長は10月28日の記者会見で「個人の感情ではない」と説明している一方、その後の訂正内容とは大きな隔たりが見受けられる。当初の発言が客観的事実に基づくものであったのか、市長の見解を伺う。	
	③ 市長は「時系列の認識不足」「言葉足らずであった」と説明しているが、市が後に発表した訂正文との間には大きな差異がある。全国的な注目を集める中、今回の発言及び訂正が市政に対する信頼に与えた影響について、どのように認識しているのか伺う。	
3．茨城県常陸大宮市における高レベル放射性廃棄物最終処分場選定に係る文献調査について	茨城県常陸大宮市において、高レベル放射性廃棄物最終処分場選定に向けた国の文献調査が開始された。 市長は定例記者会見において、事前説明が十分でなかったことについて遺憾の意を表明し、国及び常陸大宮市に対し丁寧な説明を求めている。 本市は隣接自治体として住民交流や経済活動等の結びつきも強く、市民の関心や不安も高いことから、情報把握と対応について伺う。	市　長
	① 本市が本件に関する情報を把握した時期、情報入手の経路及び初動対応について伺う。	
	② 経済産業省職員は9月15日に茂木町及び那珂川町を訪問し、文献調査の説明を行っています。本市において面会が行われなかった理由について伺う。	
	③ 農業、観光及び地域イメージへの影響並びに住民不安や風評被害に対する本市の見解を伺う。	
4．「なすからオープンガーデン巡り」の創設について	本市には、全国的なコンテストで高い評価を受けた庭園をはじめ、美しく個性あふれる庭づくりに取り組まれている皆様がいらっしゃる。 本年は5か所の庭園が一般公開され、多くの来訪者が本市の魅力に触れる機会となった。関係者の御尽力に敬意を表するものである。 オープンガーデン事業は、景観形成のみならず、市民交流の促進、交流人口・関係人口の創出、さらには地域経済の活性化にもつながる取組であると考える。 そこで、オープンガーデン事業の推進について伺う。	市　長
	① オープンガーデンを核とした誘客事業について、市の考えを伺う。	
	② 庭園公開に協力いただける市民の募集やネットワークづくりについて、市の見解を伺う。	
	③ 飲食店、農産物直売所、園芸関連事業者等との連携による周遊型観光施策について、市の考えを伺う。	

	④ 市観光協会や関係団体と連携し、「なすからオープンガーデン巡り」を本市の特色ある事業として推進していく考えについて伺う。	

総計時間	75 分	発言所要時間	35 分	答弁を求める予想時間	40 分